

目 次

I	栽培漁業の現状と問題点について	P 1
1	これまでの経過と現状	P 1
2	現在の種苗供給、斡旋の仕組み	P 3
3	対象魚類別にみた費用対効果	P 4
4	既存施設の老朽化等の現状	P 5
II	栽培漁業の将来展望について	P 8
1	対象漁業の今後の動向	P 8
2	他県の状況	P 9
3	取り組みの基本方向	P11
III	具体的な対策と関係者の役割について	P12
1	新たな種苗供給体制の確立	P12
2	既存施設の利活用	P13
3	関係者の果たすべき役割	P13